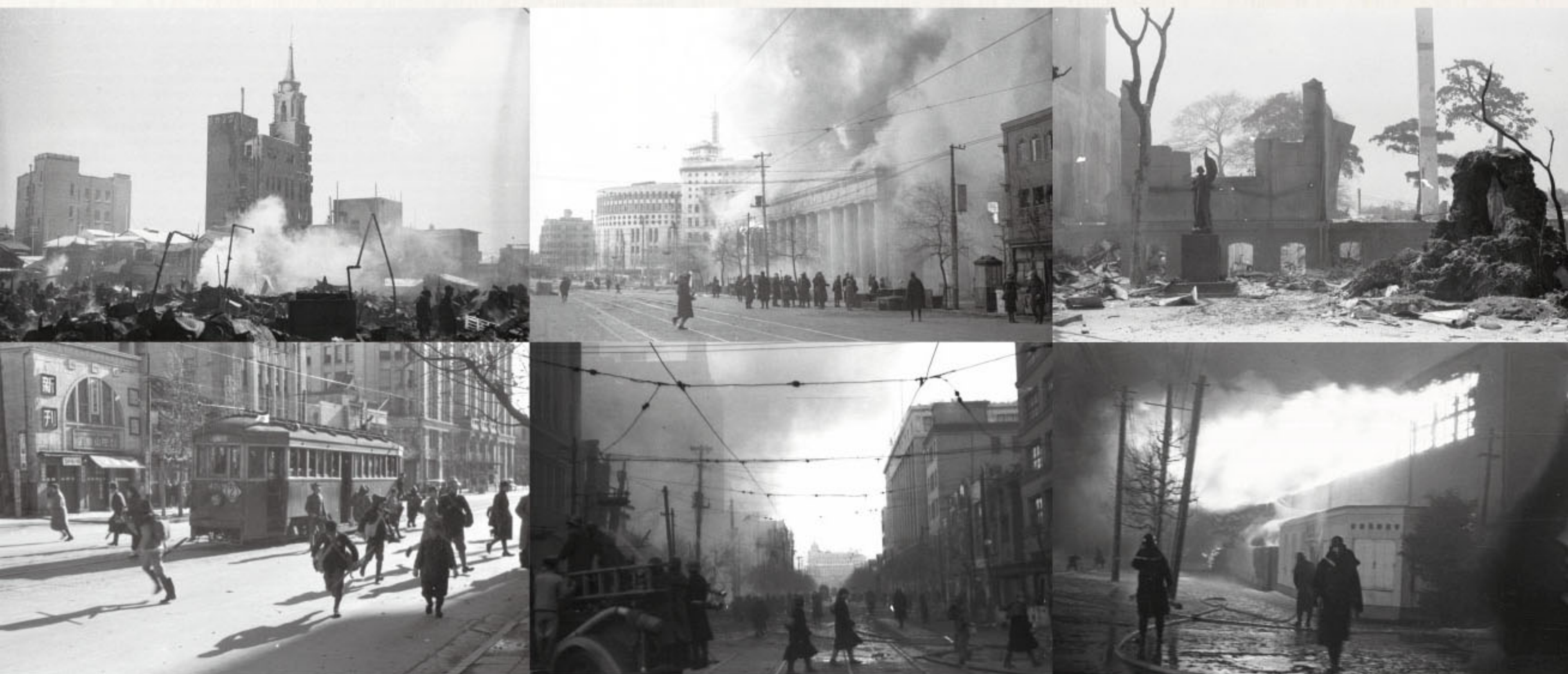


東京大空襲・戦災資料センター 2015年 第1回 特別展

戦後70年にふりかえる

# 東京空襲写真展

『決定版 東京空襲写真集』刊行記念



上段左 浅草の地下鉄ビル付近の焼跡 1945年2月26日、石川光陽撮影／上段中 炎上する安田銀行数寄屋橋支店 1945年1月27日、石川光陽撮影／上段右 雙葉高等女学校 被災した聖堂・ジャンヌダルク像・ルルドの聖母子像 1945年4月頃、東方社・林重男撮影／下段左 日本橋区通2丁目 都電から待避する乗客たち 1944年12月、東方社・林重男撮影／下段中 銀座4丁目から京橋方面の火災を見る 1945年1月27日、東方社・菊池俊吉撮影／下段右 炎上する内閣印刷局 1945年2月25日、石川光陽撮影

会期 2015年 2月25日(水)～4月12日(日)

開館日 水曜日～日曜日 開館時間 12～16時 ※3月9日(月)・10日(火)は開館します。

協力費 一般300円／中学・高校生200円／小学生以下無料

記念講演会 2月28日(土) 14時～17時(開場13時)

会場 東京大空襲・戦災資料センター2階会議室 定員 先着50名様

東京大空襲・戦災資料センター

東京都江東区北砂1丁目5-4 <http://www.tokyo-sensai.net/>

Tel: 03-5857-5631 Fax: 03-5683-3326

# 東京空襲写真展

2月25日(水)

～4月12日(日)

『決定版 東京空襲写真集』刊行記念

この写真展では、警視總監から特別の指示を受けて、警視庁カメラマンの石川光陽氏が撮影した東京空襲写真と、陸軍参謀本部のもとで写真宣伝物を制作するとともに、陸軍の記録写真を撮影していた東方社のカメラマン菊池俊吉氏、林重男氏、後藤種吉氏が所蔵していた東京空襲写真とのうちの、初公開のものを含めて、主なものを展示します。

東京大空襲・戦災資料センターでは、東方社や日本写真公社の記録写真についての共同研究を立ち上げ、東京空襲被害写真の発掘と内容の解明に取り組んできましたが、今回写真を所蔵されているカメラマンのご遺族のご協力も得て、この写真展の開催が可能になりました。

展示する空襲被害写真には、初空襲(1942年4月18日)、銀座空襲(1945年1月27日)、下町大空襲(1945年3月10日)、山の手大空襲(1945年4月13～14日、15日、5月24日、25～26日)、八王子空襲(1945年8月2日)など、主な空襲がすべて含まれています。これらの写真からは、アメリカ軍の東京空襲が軍需工場などの軍事施設のみでなく、教育機関、神社、寺院、教会、繁華街、商店街などの非軍事施設をも破壊し、住宅地を焼き払い、女性や赤ちゃんなどの民間人・非戦闘員を殺戮するという非人道的なものであったことを読みとることができます。

東京大空襲から70年にあたり、東京空襲の惨禍を見て、改めて戦争について考えていただきたいと思えます。(展示点数 写真約130点)



日本橋区小網町の焼跡  
1945年3月11日、石川光陽撮影



破壊され外壁のみが残るカテドラル関口台教会内部と牧師  
1945年5月27日、菊池俊吉撮影

## ■ 記念講演会 ■

### 日時

2015年2月28日(土)  
14時～17時(開場13時)

### 会場

東京大空襲・戦災資料センター2階会議室

### 講師

井上祐子  
東京大空襲・戦災資料センター主任研究員  
京都外国語大学非常勤講師

山辺昌彦  
東京大空襲・戦災資料センター主任研究員

大堀宙  
明治大学大学院博士後期課程

### 定員

当日先着50名様

この展覧会は科学研究費「戦中・戦後の「報道写真」と撮影者の歴史的な研究—東方社カメラマンの軌跡—」(2014～2016年度(予定)課題番号:26370810)を受けた共同研究の成果の一部です。

■ 開館日  
水曜日～日曜日

■ 開館時間  
12時～16時まで

■ 休館日  
月曜日・火曜日

※3月9・10日は  
曜日に関わらず開  
館します。

■ 協力費  
一般 300円  
中・高校生 200円  
小学生以下 無料



The Center of the Tokyo Raids and War Damage

## 東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

Tel 03-5857-5631 / Fax 03-5683-3326 / Web <http://www.tokyo-sensai.net/>